



# 株主の皆様へ

## 第131期 期末報告書

2008年4月1日から2009年3月31日まで

# 株主の皆様へ

## ごあいさつ



取締役会長 石川忠司 取締役社長 豊田鉄郎

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、豊田自動織機ならびに豊田自動織機グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。第131期期末報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当期の業績につきましては、外部環境の急激な悪化により、創業以来初の営業損失を計上することとなりました。

このような状況のなか、当期の配当は、昨年11月に中間配当金を1株につき30円お支払いいたしました。期末配当金につきましては、遺憾ながら1株につき10円とし、年間としては前期に比べ20円減少の1株につき40円とさせていただきます。

今後の経済の見通しにつきましても、世界的な景気後退の長期化や為替相場、株式市場の動向などが懸念され、当社グループを取り巻く環境は一層厳しくなることが予想されます。

当社グループといたしましては、収益力の向上をはかるべく、事業構造・コスト構造改革をグループの総力をあげて迅速かつ徹底的に推進し、より筋肉質で強靱な事業体質の再構築を進めてまいります。また、新商品の投入や販拡活動など、売上高の拡大に向けてのさまざまな施策を打ってまいります。

さらに、グローバルな連結経営を強い職場力で支えるため、グループの将来を担う、自ら考え、自ら学び、自ら行動する自立した人材の育成に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2009年6月

### 目次

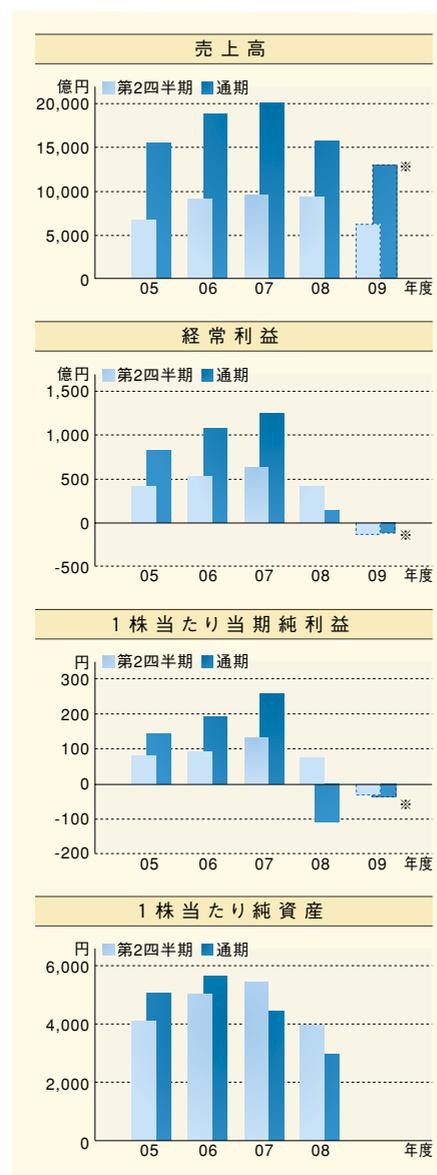
- 株主の皆様へ ..... 1
- 連結業績の概況 ..... 2
- 事業別の概況 ..... 3.4
- 連結決算  
連結貸借対照表 ..... 5  
連結損益計算書  
連結キャッシュ・フロー計算書  
1株当たり配当金  
連結株主資本の変動について ..... 6
- トピックス ..... 7.8
- 株式の状況 ..... 9
- 会社の情報 ..... 9
- 株主メモ ..... 10

# 連結業績の概況

当期の経済情勢を概観しますと、金融危機を背景とした实体经济の悪化が、欧米のみならず新興国にも広がり、世界的に景気が急激に落ち込む厳しい状況となりました。国内におきましても、輸出や生産、民間設備投資が大幅に減少し、雇用情勢も深刻化するなど、景気は急速に後退いたしました。

このような状況のなかで、当期の売上高は、前期を4,163億円(21%)下回る1兆5,842億円となりました。また利益につきましては、購入部品・加工費等の価格改善、生産性向上などの原価改善活動に加え、昨年12月に緊急収益改善委員会を組織し、徹底したコスト・経費の削減に取り組んでまいりました。しかしながら、国内外での売上げの大幅な減少の影響は大きく、また原材料・購入部品の値上がりや為替変動による影響もあり、遺憾ながら、営業利益は前期を1,034億円下回る66億円の損失を計上する結果となり、経常利益は前期を1,121億円(89%)下回る143億円となりました。また、当期純利益につきましては、生産量減少に伴う固定資産の処分損ならびに電子部品の一部生産中止に伴う損失を、特別損失として計上したことなどから、前期を1,131億円下回る327億円の損失となりました。1株当たり当期純利益は前期を363円下回る105円の損失、1株当たり純資産は1,496円(33%)下回る2,987円となりました。

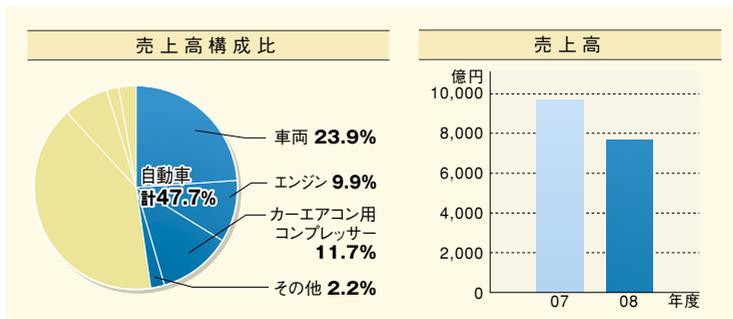
次期の見通しにつきましては、売上高1兆3,000億円、営業損失100億円、経常損失115億円、当期純損失100億円といたしました。(2009年5月12日現在)第3四半期以降の受取配当金につきましては、予想が困難なため見込んでおりません。なお、為替レートにつきましては1USドル95円、1ユーロ125円としております。



※2009年度については見込みです。

# 事業別の概況

## ■自動車



ヴィッツ



AD型  
ディーゼルエンジン



レクサスLS600h搭載  
電動コンプレッサーES34

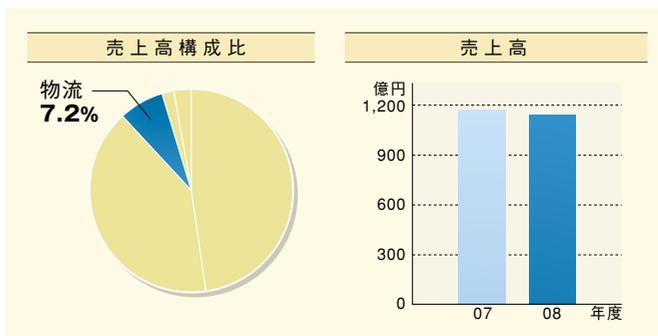
自動車業界におきましては、先進国での急速な市場縮小に加え、成長が期待されていた新興国においても、市場の伸びは鈍化いたしました。そのなかで、当部門の売上高は前期を2,133億円(22%)下回る7,559億円となりました。

このうち車両につきましては、ヴィッツ・RAV4・マークXジオともに減少したことにより、売上高は前期を1,220億円(24%)下回る3,781億円となりました。

エンジンにつきましては、主にRAV4などに搭載されているAD型ディーゼルエンジンが減少したことにより、売上高は前期を221億円(12%)下回る1,566億円となりました。

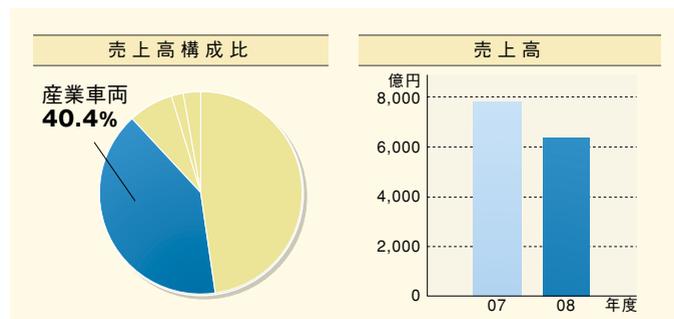
カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、北米をはじめ欧州・日本の自動車メーカーでの大幅な減産の影響を受けたことにより、売上高は前期を672億円(26%)下回る1,863億円となりました。

## ■物流



物流業界におきましては、国内貨物輸送量は引き続き減少し、厳しい状況が続きました。そのなかで、当部門は集配金・売上金管理サービスや情報保管管理・集配サービスなどは前期を上回りましたが、主に自動車関連部品の運送事業が減少したことにより、売上高は前期を27億円(2%)下回る1,148億円となりました。

## ■ 産業車両



産業車両業界におきましては、世界的に市場は冷え込み、特に昨年10月以降は、国内・海外ともにこれまでにない急激な落ち込みとなりました。そのなかで、主力のフォークリフトトラックにつきましては、グローバルでの販売活動を強力に推進してまいりましたが、トヨタブランド・BTブランドとも販売台数が前期を下回る結果となりました。さらに、高所作業車の販売減少や為替変動による影響などもあり、売上高につきましては、前期を1,435億円(18%)下回る6,396億円となりました。

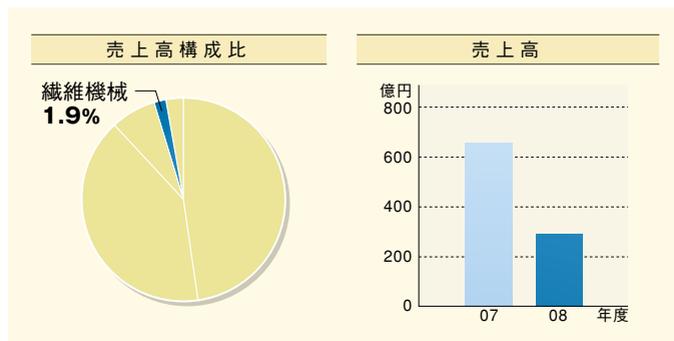


GENEO-B カウンタータイプ  
電動式フォークリフト



Reflex  
リーチタイプ  
電動式  
フォークリフト

## ■ 繊維機械



繊維機械業界におきましては、主要市場である中国やインドにおいて、欧米の景気後退の影響により、市場は急速に悪化いたしました。そのなかで、当部門は主力商品であるエアジェット織機が中国向けで大きく減少したことにより、売上高は前期を367億円(55%)下回る295億円となりました。

JAT710  
エアジェット織機



# 連結決算

## ■ 連結貸借対照表

科目	前期末 2008年3月31日現在	当期末 2009年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>595,612</b>	<b>567,967</b>
現金及び預金	115,557	169,743
受取手形及び売掛金	244,035	158,798
有価証券	40,621	58,838
たな卸資産	124,633	102,161
その他	70,764	78,425
<b>固定資産</b>	<b>2,369,972</b>	<b>1,759,464</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>622,847</b>	<b>589,264</b>
建物及び構築物	188,776	182,214
機械装置及び運搬具	266,347	252,402
その他	167,722	154,647
<b>無形固定資産</b>	<b>149,685</b>	<b>118,809</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,597,439</b>	<b>1,051,391</b>
投資有価証券	1,513,779	907,524
その他	83,660	143,867
<b>合計</b>	<b>2,965,585</b>	<b>2,327,432</b>

(百万円未満切り捨て)

科目	前期末 2008年3月31日現在	当期末 2009年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>538,041</b>	<b>414,379</b>
支払手形及び買掛金	214,084	104,658
短期借入金	52,326	63,187
コマーシャル・ペーパー	33,700	26,356
1年以内償還の社債	20,000	32,072
その他	217,929	188,104
<b>固定負債</b>	<b>973,547</b>	<b>935,382</b>
社債	230,766	231,501
長期借入金	185,513	285,340
リース債務	13,188	104,245
繰延税金負債	482,787	252,209
退職給付引当金	47,102	44,055
その他	14,188	18,029
<b>負債計</b>	<b>1,511,588</b>	<b>1,349,762</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>602,783</b>	<b>548,264</b>
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	106,184	106,180
利益剰余金	466,780	412,294
自己株式	△ 50,644	△ 50,672
<b>評価・換算差額等</b>	<b>794,171</b>	<b>382,466</b>
その他有価証券評価差額金	752,553	392,489
繰延ヘッジ損益	140	24
為替換算調整勘定	41,477	△ 10,048
<b>新株予約権</b>	<b>695</b>	<b>1,224</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>56,345</b>	<b>45,715</b>
<b>純資産計</b>	<b>1,453,996</b>	<b>977,670</b>
<b>合計</b>	<b>2,965,585</b>	<b>2,327,432</b>

## ■ 連結損益計算書

(百万円未満切り捨て)

科 目	前期	当期
	2007年4月1日から 2008年3月31日まで	2008年4月1日から 2009年3月31日まで
売上高	2,000,536	1,584,252
売上原価	1,678,493	1,389,002
販売費及び一般管理費	225,189	201,871
営業利益又は営業損失(△)	96,853	△6,621
営業外収益	64,916	59,312
受取利息及び配当金	49,588	50,458
その他	15,328	8,854
営業外費用	35,281	38,346
支払利息	19,453	19,770
その他	15,828	18,576
経常利益	126,488	14,343
特別利益	5,866	-
特別損失	-	37,591
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	132,355	△23,247
法人税、住民税及び事業税	47,057	8,248
法人税等調整額	△2,528	8,240
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	7,365	△6,968
当期純利益又は当期純損失(△)	80,460	△32,767

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切り捨て)

科 目	前期	当期
	2007年4月1日から 2008年3月31日まで	2008年4月1日から 2009年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	188,805	65,768
投資活動による キャッシュ・フロー	△138,789	△114,217
財務活動による キャッシュ・フロー	△33,992	120,971
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△3,309	△5,795
現金及び現金同等物の 増減額	12,714	66,727
現金及び現金同等物の 期首残高	108,569	121,284
現金及び現金同等物の 期末残高	121,284	188,011

## ■ 1株当たり配当金



## ■ 連結株主資本の変動について (2008年4月1日から2009年3月31日まで)

**2009年3月末株主資本残高 5,482億円 (前期末比 △545億円)**

(変動額の主な内訳) ・当期純損失 △327億円  
・剰余金の配当 △193億円

# トピックス

## 世界初のエンジン式ハイブリッドフォークリフトを2009年12月に発売

当社は、ディーゼルエンジンと電動モーター、バッテリーを組み合わせた世界初<sup>※1</sup>のハイブリッドフォークリフト「GENEO-HYBRID」(3.5トン積)を2009年12月に発売します。

この「GENEO-HYBRID」には、トヨタ自動車株式会社のハイブリッド技術を活用し、フォークリフトの特徴に対応したハイブリッドシステムを当社が独自で開発・搭載しています。これにより、現行3.5トン積ディーゼルエンジン式フォークリフトと同等の作業性能を確保しつつ、CO<sub>2</sub>排出量および燃料消費量を約50%<sup>※2</sup>低減し、世界トップクラスの燃費性能を実現しました。

今後も、フォークリフトの世界トップメーカーとして、環境性能と車両性能を両立する環境対応技術の開発をさらに強化していきます。

※1 2009年4月末日時点 当社調べ ※2 JIS作業サイクルでの当社測定値



GENEO-HYBRID (ジェネオ ハイブリッド)  
(注) 実際に発売する商品と外観が異なる可能性があります。

## 欧州向け新型電動式フォークリフト「TRAIGO 48」がドイツのiFデザイン賞を受賞

当社は、2009年1月より欧州市場で、新型フォークリフト「TRAIGO 48」(1.5~2.0トン積48V電動式3輪車・4輪車)の販売を開始しました。フォークリフト用としては世界最小クラスのACモーターとコントローラーを開発・搭載することにより、走行および荷役性能の向上とコンパクト化などを実現しました。また、性能、機能、操作性、居住性を兼ね備えたデザインが認められ、日本のフォークリフトとしては初めてドイツのiFデザイン賞<sup>※</sup>を受賞しました。

今後も省燃費、環境対応、作業性向上などの市場ニーズを開発テーマとし、フォークリフトの商品力、競争力を強化していきます。

※ドイツの社団法人国際デザインフォーラムが、1954年から毎年開催しており、世界的に権威のある工業デザイン賞とされている。世界各国から応募された工業製品を対象とし、美しさや獨創性などに加えて、安全性や環境への配慮なども考慮して選考が行われる。



TRAIGO (トレゴ) 48



## 新型プリウス用PCU冷却器を新開発

当社は、ハイブリッド自動車向けにPCU直冷式冷却器<sup>※1</sup>、DC-DCコンバーター<sup>※2</sup>、カーエアコン用電動コンプレッサーを開発し、2009年5月にトヨタ自動車株式会社が発売した「新型プリウス」に搭載されました。

今回開発した冷却器は、PCUのパワー半導体を直接冷却することで冷却性能を大幅に高め、PCU全体の小型化を可能にしています。また、DC-DCコンバーター、電動コンプレッサーについても、従来プリウス向け商品に対し、小型・高効率化をはかっています。

今後も、ハイブリッド自動車向け部品の開発において、さらなる効率の改善、小型化、軽量化をはかり、ハイブリッド自動車の性能向上に貢献していきます。

※1 PCU(電力制御ユニット)の発熱によるエネルギーロスを抑制するための冷却機器

※2 ハイブリッド車用バッテリーの高電圧をライトやワイパーなど補機用の低電圧へ変換する機器



PCU直冷式冷却器

## 第46回技能五輪全国大会 電気溶接部門で金メダル獲得

当社は「ものづくりの基本は人づくり」の考えのもと、次代を担う人材の育成に取り組んでいます。その一環として、高度技能の伝承をねらいに、2000年から技能五輪に挑戦しています。

2008年10月31日(金)～11月3日(月)に千葉県で開催された第46回技能五輪全国大会において、当社からは14選手が5種目に出場し、全種目でメダルを獲得しました。このうち、電気溶接部門に出場した森裕一選手が、第45回大会に続いて金メダルを獲得し、同種目の2連覇を果たしました。また、2009年9月にカナダ(カルガリー市)で開催される第40回技能五輪国際大会への出場が決定しています。



## フォークリフト完成車の鉄道輸送を拡大 — CO<sub>2</sub>排出量削減輸送リードタイム短縮をはかる —

当社は、2002年、フォークリフトメーカーとして初めて完成車の鉄道輸送を導入し、これまで荷重2トン未満の小型車を対象に海上輸送から鉄道輸送への切り替えを進めてきました。2008年12月からは、環境負荷の低減と物流の効率化をさらに推進するため、新たに31フィートコンテナを利用して荷重2トン以上～3トン以下の中型車の鉄道輸送を開始しました。

鉄道輸送への切り替えにより、CO<sub>2</sub>排出量を1台当たり約4割低減するとともに、リードタイムを最大8日間短縮することが可能となります。

今後も鉄道輸送の拡大を進め、CO<sub>2</sub>排出量の削減と納期の短縮に努めていきます。



## 地域に密着した社会貢献活動を推進

2009年2月、愛知県刈谷市の福祉施設に通う障がい者の方々とそのご家族をお招きし、歌や踊りの披露や工作教室など、たくさんのプログラムをお楽しみいただきました。15回目を迎えた2008年度は248名の方にご来場いただき、従業員や地域ボランティア80名が運営をサポートしました。

2008年7月に開設したボランティア支援センター「はあとふる」を拠点に、今後も積極的な活動を展開していきます。

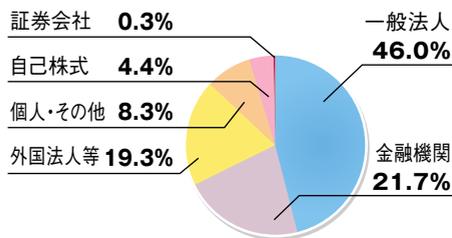


# 株式の状況

2009年3月31日現在

発行可能株式総数	<b>1,100,000,000株</b>
発行済株式総数	<b>325,840,640株</b>
株主数	<b>22,550名</b>

## 所有者別株式の状況



## ■大株主の状況

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	<b>76,600</b>
株式会社デンソー	<b>29,647</b>
サードアベニュー・バリュー・ファンド・カストディアルトラストカンパニー	<b>18,576</b>
東和不動産株式会社	<b>15,697</b>
日本マスタートラスト信託銀行株式会社〈信託口〉	<b>9,068</b>
豊田通商株式会社	<b>8,289</b>
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社〈信託口4G〉	<b>8,177</b>
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社〈信託口〉	<b>6,975</b>
日本生命保険相互会社	<b>6,735</b>
アイシン精機株式会社	<b>6,578</b>

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式14,263千株があります。

# 会社の情報

設立 1926年11月18日

資本金 804億円 (2009年3月31日現在)

従業員数 連結39,916名、単独12,279名 (2009年3月31日現在)

本社所在地 〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地  
TEL (0566) 22-2511 (代表)

### 取締役 (2009年6月19日現在)

取締役会長	石川 忠司	専務取締役	室 殿 豊
取締役社長	豊田 鐵郎	専務取締役	吉 田 和 憲
取締役副社長	松浦 達郎	専務取締役	山 田 耕 作
取締役副社長	伊 村 晟	専務取締役	関 森 俊 幸
専務取締役	吉 田 成 毅	専務取締役	三 矢 金 平
専務取締役	加 藤 正 文	取 締 役	豊 田 達 郎
専務取締役	豊 田 康 晴	取 締 役	佐 藤 則 夫

### 監査役 (2009年6月19日現在)

常勤監査役	伊 藤 正 宣	監 査 役	川 口 文 夫
常勤監査役	石 川 覚 雄	監 査 役	渡 辺 捷 昭
		監 査 役	佐 々 木 眞 一

### 執行役員 (2009年6月19日現在)

常務執行役員	加 勢 田 聡	執行役員	野 崎 晃 平
常務執行役員	佐 々 木 一 衛	執行役員	三 浦 治
常務執行役員	森 下 洋 司	執行役員	山 本 卓
常務執行役員	古 川 真 也	執行役員	土 本 幸 久
常務執行役員	大 西 朗	執行役員	大 塚 幹
執行役員	小 川 隆 希	執行役員	鈴 木 雅 晴
執行役員	大 久 保 孝 司	執行役員	浅 井 裕 章
執行役員	佐 々 木 憲 夫	執行役員	伊 藤 天
執行役員	小 河 俊 文	執行役員	山 岸 俊 哉
執行役員	大 西 敏 文		

# 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金支払株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上記連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711

## ご注意

- ・株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で取り扱うこととなりました。各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせください。
- ・特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り次ぎいたします。
- ・未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国各支店でお支払いいたします。

## 単元未満株式買取・買増制度のご案内

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（100株未満）については市場で売買できません。ご所有の単元未満株式の売買をお考えの場合は、以下の制度をご利用ください。

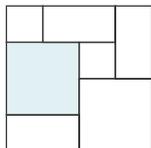
- ・単元未満株式**買取**制度 単元未満株式を**当社にご売却**いただくことができます。
  - ・単元未満株式**買増**制度 単元株式（100株）にするために、不足分を**当社からご購入**いただくことができます。
- お手続きの詳細につきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）までお問い合わせください。

この期末報告書に含まれる業績予想は、現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等に係るリスクや不確実性により、予想と大きく異なる可能性があります。



TOYOTA 株式会社 豊田自動織機

〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地  
TEL : (0566)22-2511(代表) FAX : (0566)27-5650  
ホームページ <http://www.toyota-shokki.co.jp/>



表紙の写真

2008年10月31日～11月3日に千葉県で開催された  
第46回技能五輪全国大会の電気溶接部門で  
金メダルを獲得した森裕一選手です。



この印刷物は森林保護のため再生紙を使用しています。